# 指令 Mission



ボーイ ベンチャースカウト向け スカウト向け

# はぐれ MAPを 生息地MAPを つくろう!

## ねらい

「はぐれプラごみ」を見つけたら、そこにあったごみの特徴に合わせて名前をつけ、タグ付けを行い、「ピリカ」で全国の友団と情報共有しましょう。ごみが見つかった場所や量、ごみの種類が「ピリカ」に蓄積されていきます。

## やり方

#### 1 分担を決める

清掃エリアの分担をしましょう。プラスチック、ペットボトル、燃やすごみ、燃やさないごみで分別できるようごみ袋を用意すると、プラスチックごみの量を実感しやすくなります

#### ② 制限時間を決めてごみを拾い、発見場所の様子を撮影

ごみの発見場所の様子を撮影してから清掃します。特に多かったごみや特徴的なごみを後で思い出せるように撮 影しておきましょう。撮影した場所がどこか、地図等にメモしておきましょう(「ピリカ」の投稿は後からでも行えます)

#### 3 撮影した写真を見せ合いながら生息地に名前をつける

清掃終了後、特に多かったごみ、特徴的なごみがわかるような「生息地の名前」をつけてみましょう。観光地に名前を つけるようなイメージで自由な発想でつけてください。つけた名前は「ピリカ」投稿時に「コメント欄」に記載します 例:タバコの吸殻がたくさんあった→「はぐれ吸い殻密集地」

ごみ袋が破れてごみが散乱していた→「カラス襲撃ごみ大量発生地」

### 「生息地の名前」とハッシュタグをつけて「ピリカ」に投稿

次ページの「ハッシュタグー覧」を見ながら、投稿につけるハッシュタグを決めます(複数選択可能です)。写真と「生息地の名前」「ハッシュタグ」をコメント欄に記載して「ピリカ」で投稿します

### 5 予測と実測がどのように違ったか、話し合う

事前に生息地予測をした場合は、当初予測していた「はぐれプラごみ」の生息地と一致していたか確認しましょう。予想 外の場所が見つかった場合はなぜそこにごみが多いのか話し合い、地域の中で行える活動や対策を検討してみましょう

# イメージ

#### 発見場所の様子を撮影!

場所・ごみの種類・量をメモしておこう

#### 生息地の名前をつける



カラス襲撃
ごみ大量発生地



はぐれ吸い殻 密集地

#### Webページから 県ごとに拾われたごみの量や 拾われたごみの種類が見えるようになる! 一番多く「はぐれプラごみ」を

捕獲する地域はどこだ?!

プラごみバスターズ大作戦の



#ペットボトルバスターはどこあった?どのくらい拾われた?

#### ハッシュタグを決める

#### #吸殻バスター #タバコ包装バスター

\*「ピリカ」内にある「プラごみバスターズ大作戦」のイベントに「参加」すると、ハッシュタグ一覧が自動でコメント欄に入ります。 不要なハッシュタグを消して下さい。

#### 「ピリカ」に投稿



コメント欄に「生息地の名前」と「ハッシュタグ」を入れて投稿!

Pirika

\*歩きながらの投稿はやめましょう

#### ハッシュタグ一覧

	ごみタイプ	#ハッシュタグ名	(	現在( 年	のごみ 月	・総量 日時点)	(	ごみ約 年	総量の 月	)順位 日時点)
1	飲料用プラボトル (ペットボトル)	#ボトルバスター								
2	タバコの吸殻・ フィルター	#吸殻バスター								
3	食品の包装・袋	#食品包装バスター								
4	ボトルキャップ (プラスチック)	#キャップバスター								
5	その他 プラスチック袋	#袋バスター								
6	食品容器 (プラスチック・ 発泡スチロール)	#食品容器バスター								
7	レジ袋	#レジ袋バスター								
8	ふた (プラスチック)	#プラふたバスター								
9	生活雑貨 (歯ブラシ・文具など)	#雑貨バスター								
10	洗剤・漂白剤類ボトル	#洗剤容器バスター								
11	その他プラスチック	#その他バスター								

#### ハッシュタグの分類について

<指令2「はぐれプラごみ」 生息地を予測せよ!>に記載した、国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup: ICC) の 「ICC2018の品目別総合結果」 に記載された項目のうち、 陸起源類のプラスチックごみ上位 10種類をハッシュタグにしています。 ハッシュタグ名を正確に記載することで、全国の友団の結果を統合することができます。

データが蓄積してきたら、「現在のプラごみ総量」や「ごみ総量の順位」を調べ、世界中で陸上から海洋へ流出してしまっているごみと 自分たちが拾ったごみの種類の割合を比較することで、自分たちの地域の傾向を把握して、対策検討のヒントにすることもできます。